

Markdown で論文を書くための Makefile やプリアンブルのセット

orumin

dev@orum.in

Abstract

論文とかのための Pandoc と LaTeX と Makefile 組み合わせたやつのサンプルっぽいナニかです

Keywords: Markdown, LaTeX, Pandoc

1. はじめに

Markdown で論文書きたい人のためのサンプルです。次のように Markdown の記法が使えます。

- アイテマイズ 1
- アイテマイズ 2

src ディレクトリにこの Markdown を変換した TeX テキストファイルが出力されます。さらにこの TeX ファイルに編集を加えてからもう一度 make をすると、その編集が反映されるかと思えます。

2. 背景

これを作ったのは次のためです。

1. 最終的に TeX を書くにしても最初書き下すときに TeX 記法は使いたくない
2. Pandoc を使うにしても色々自動でやってくれるようにある程度体裁などの設定のラクをしたい

3. 提案手法

既存の類似フレームワークは Re:VIEW [1] が存在します。また、 \LaTeX だけで最初から書いてしまう、という以前より行なわれてきた手段もありますが、 \LaTeX はあくまで組版ソフトであり、文章そのものを書く環境としては煩雑であり好ましくありません。これらを Table 1 にまとめて示します。

Table 1: 手法の比較

手法	メリット	デメリット
\LaTeX	体裁が細やかに指示できる	記法が煩雑
Re:VIEW	Markdown から体裁を整えた PDF を出力できる	独自記法を覚える必要がある
本手法	MD から体裁を整えた PDF が作れ、構造が簡素	車輪の再発明になっているフシがある

Preprint submitted to Example Journal

October 4, 2016

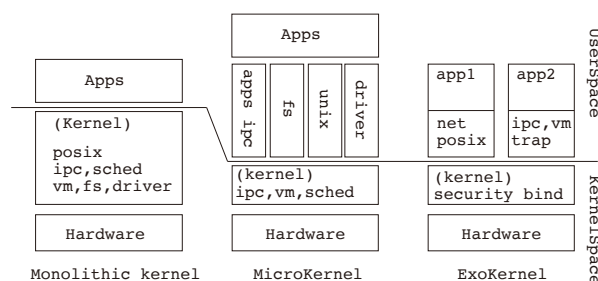


Figure 1: カーネルの変遷

3.1. テストのテキスト

ライブラリ OS (Library OS ; LibOS) とは、OS が最低限のセキュリティバインディング API のみを持つようにし、従来の OS がもつサブシステムを全部アプリケーションにリンクさせるライブラリにしたものである [2]。

モノリシックカーネル、マイクロカーネル、エクソカーネル (LibOS) の変遷を Figure 1 に示す。

4. まとめ

良い執筆生活を！

5. 参考文献

- [1] Re:VIEW, Accessed 2016-10-04.
URL <https://github.com/kmuto/review>
- [2] D. R. Engler, M. F. Kaaspoeck, J. O'Toole Jr, ExoKernel: An Operating System Architecture for Application-Level Resource Management, in: 15th ACM Symposium on Operating Systems Principles (SOSP '95), ACM, Copper Mountain, CO, USA, 1995, pp. 251–266. doi:10.1145/224056.224076.
URL <https://pdos.csail.mit.edu/6.828/2008/readings/engler95exokernel.pdf>